

「安心社会をつくろう！」

杉山事務局長が紀伊國屋前で訴え～第2ゾーン街宣実施

連合北海道は、「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーン」第2ゾーンとして、2月22日12時から札幌駅前の紀伊國屋書店前で街頭宣伝活動を行った。

街宣には各産別から20人の組合員が参加、市民の皆さんに声をかけながらチラシを配布し、運動への理解と協力を訴えた。

初めに連合北海道杉山事務局長が、非正規労働者が約2000万人と40%を占める現状の中で改正労働者派遣法を派遣の固定化、格差の拡大につながると批判した。また、自民党国会議員の数々の失言、暴言について、一強他弱の中で与党の奢りに他ならない。民主主義、立憲主義を取り戻すためにも4月の5区補選と7月の参議院選挙で勝利することが重要であり、安心社会実現のため一人ひとりが主役となって、労働者、生活者の視線に立った活動に対する支援を強く訴えた。



医療・介護・保育分野の処遇・労働条件の改善を！

続いて齊藤副事務局長が、軽減税率について、裕福な人ほど恩恵が多いこと、1兆円にのぼる税収減によって社会保障財源に支障が出ると指摘、「一体誰のための軽減税率か」と問題点を訴えた。



さらに、医療・介護・保育分野では厳しい労働条件と低賃金のなかで労働者の精神的、肉体的負担・疲労が高まっているとし、処遇と労働条件改善による人材確保が早急に必要と訴えた。

また、困った時、悩んだ時には「連合相談ダイヤル」を是非利用してほしいと呼びかけた。

最後に、連合石狩地協山本副事務局長が、実際に不当な労働事件に携わった経験を元に政府が検討を進めている「解雇の金銭解決制度」を取り上げ、運動の成果として解雇不当という判決を勝ち取っても「お金さえ払えば自由に労働者をクビにする」ことにつながる制度は、人権を守るためにも、労働者保護のためにも絶対に認めることはできないと厳しく批判した。



【4つのキーメッセージ】

- ①「暮らし、苦しくなっていませんか？」＝暮らしの底割れや格差の拡大をとめよう。
- ②「仕事、きちんと報われていますか？」＝働き甲斐のある仕事(ディーセントワーク)を取り戻そう。
- ③「老後や子育て、不安はありませんか？」＝安心、安全に暮らすためのセーフティネットを要求しよう。
- ④「いまの政策、働く人が主役ですか？」＝働く人が報われる政治を取り戻そう。

2016 春季生活闘争・衆議院5区補選・第24回参議院選挙闘争勝利！

3. 2全道総決起集会

2016年3月2日(水) 18時～ 札幌市教育文化会館大ホール

すべての働く者の処遇改善！「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現！